

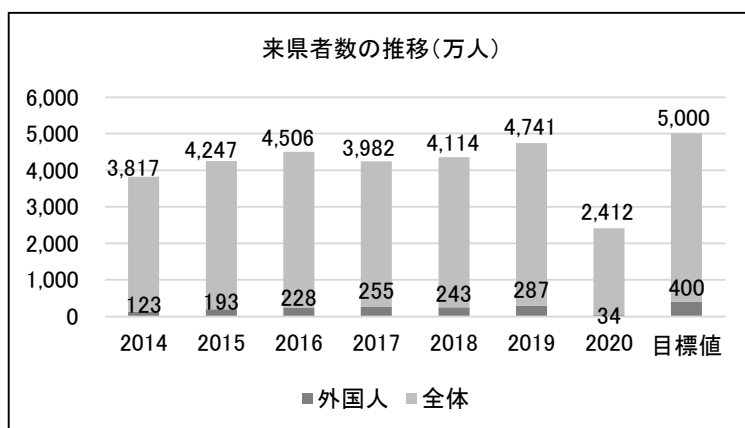
## 2021 年度版 あいち観光戦略に基づく観光振興施策の実施状況 (2020 年度年次報告書) の概要

愛知県観光振興基本条例第 9 条第 6 項の規定に基づき、「あいち観光戦略」(2016 年度～2020 年度) に定められた観光振興に関する施策の実施状況について、県議会に御報告するとともに、公表を行う。

### 第 1 数値目標の達成状況

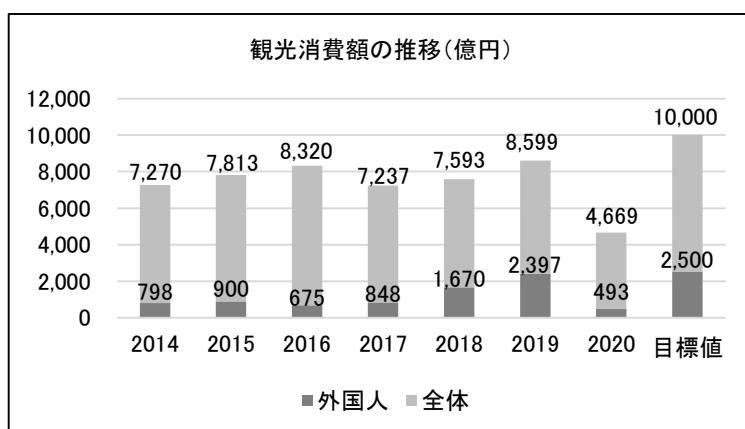
#### (1) 来県者数\*1

2020 年は、全体は、前年(2019 年)と比較して、4,741 万人から 2,412 万人(49.1%減)、外国人は 287 万人から 34 万人へ(88.1%減)となり、新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅な減少となった。(本冊 4 ページ)



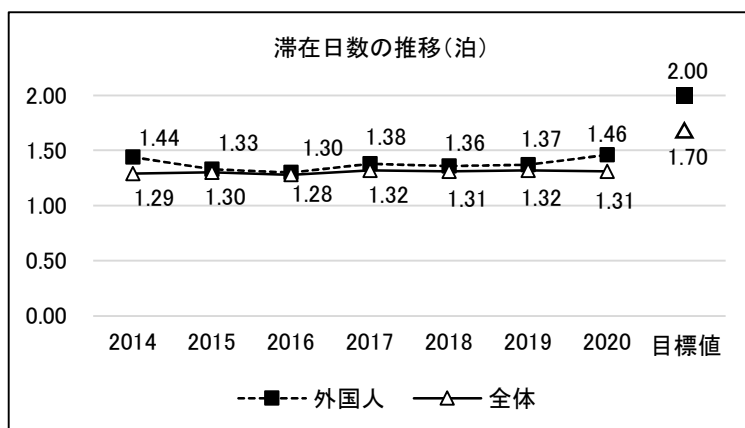
#### (2) 観光消費額\*1

2020 年は、前年(2019 年)の 8,599 億円から 4,669 億円(45.7%減)へと大幅な減少となった。(本冊 5 ページ)



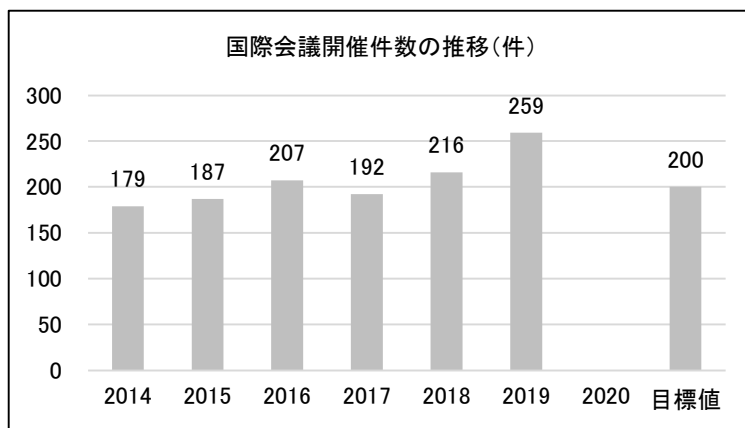
#### (3) 滞在日数

2020 年は、全体が 1.31 泊、外国人が 1.46 泊となった。外国人は、2014 年以降で最も数値が大きくなった。これは、感染症に伴う防疫措置として、入国後、ホテル等で一定期間の待機が求められたことが影響している可能性がある。(本冊 6 ページ)



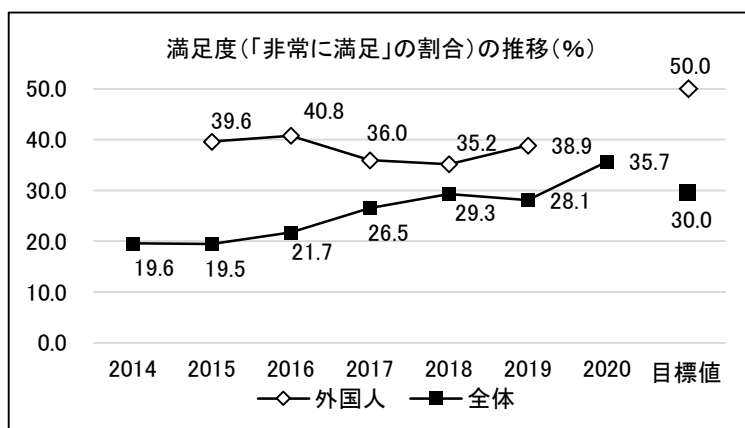
#### (4) 国際会議開催件数

本県内で開催された国際会議は、本書作成時に得られる最新データ(2019年)では259件となり、前年(2018年)に引き続き、目標値を上回る結果となった。(本冊7ページ)



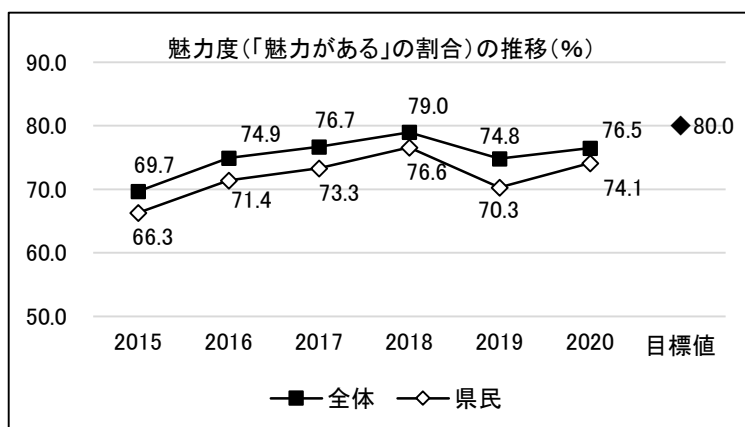
#### (5) 満足度\*2

「非常に満足」と回答した人(全体)は、前年(2019年)と比較して大幅に増加した。県内居住者の「非常に満足」との回答が大幅に増加しており、県民による県内旅行が活発化した結果、県民による県内の魅力の気づきにつながった可能性がある。(本冊8ページ)



#### (6) 魅力度\*2

前年(2019年)と比較して、全体が74.8%から76.5%に、県民が70.3%から74.1%に、ともに向上した。県民の伸び率の方が大きいのは、満足度と同じく、県民による県内旅行の活発化が影響した可能性がある。(本冊9ページ)



\*1 来県者数及び観光消費額は、これら指標の測定に必要な調査の一部が新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかったため、例年とは異なる推計を行っている。詳しくは、本冊を参照。

\*2 満足度(全体)及び魅力度は、これら指標の算出に必要な調査の一部が新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかったため、例年とは異なる算出を行っている。また、満足度(外国人)は、この指標の算出に必要な調査を実施できなかったため、欠測となった。詳しくは、本冊を参照。

## 第2 2020年度の主要な観光振興施策の実施状況（抜粋）

### （1）新型コロナウイルス感染症に対応した観光支援策

需要喚起に向けた取組として、県民による県内旅行を呼び掛ける「LOVE あいちキャンペーン」と、隣接県から本県への旅行を呼び掛ける「TRIP あいちキャンペーン」を実施し、特に、感染が落ち着いていた2020年秋ごろには効果が見られた。しかしながら、2020年12月に感染症の拡大傾向が顕著となり、両キャンペーンとも、一時停止等の措置を取ることとなった。また、地域の観光振興団体が実施するイベントやキャンペーン等に対し、委託という形で支援したほか、売上が低迷した観光物産品等の需要喚起のため、楽天市場内で割引サービスを実施した。このほか、宿泊事業者が実施する感染防止対策に対して補助金を交付したほか、外国人旅行者からの感染症に関する問合せへの対応等を行った。

### （2）戦略Ⅰ 訪日外客誘致に向けたプロモーションと受入態勢の強化

ポストコロナを見据え、アジア及び欧米豪の合計6か国に設置した「観光レップ」（本県の依頼を受けて、継続的に、出発地側で本県の情報をメディアに提供したり、本県へのツアーを旅行業者に働きかけたりする業者）を通じ、市場ごとに異なる認知度や特性を踏まえた市場調査やプロモーションを実施した。また、中央日本総合観光機構や東海地区外国人観光客誘致促進協議会とともに、サクラクオリティへの登録支援やインバウンド向けプロモーション用素材集の作成等を行い、感染症終息後への布石を打った。

### （3）戦略Ⅱ 観光資源の充実とブランド化の推進

本県の基本となる観光資源である、武将、産業、山車まつり、グルメ等のそれぞれの柱で、資源の磨き上げや情報発信を行った。新たな取組としては、「あいちのお城観光推進事業」や「愛知観光プラットフォーム推進事業」を立ち上げ、県と地域が一緒になって資源の磨き上げと情報発信を行った。

## 第3 2021年度の主要な観光振興施策（抜粋）

### （1）柱1 あいち「ツウ」リズムの推進

地域が実施する着地型観光・ナイト観光プログラムに最大100万円を支援する事業や、地域が観光プログラムとして磨き上げた商品を取りまとめ、全国の旅行会社に発信する事業等を実施しているほか、旅行者の興味・関心に合わせた着地型観光プログラムの開発促進として、「ツウ」なテーマに沿った、感動レベルの体験コンテンツの商品化事業等を行っている。また、「ツウ」な魅力を海外にも発信するため、多言語でインフルエンサーやメディア、ブロガー等と連携した事業を実施しているほか、OTA（オンライン旅行会社）と連携して造成した、体験型旅行商品を紹介する動画を制作し、配信している。

### （2）柱3 観光交流拠点としての機能強化

2022年秋に開業予定のジブリパークを周遊観光の拠点の一つとしてとらえ、パーク来場者を県内各地への周遊・宿泊につなげるための事業のほか、広域観光を担う中央日本総合観光機構や東海地区外国人観光客誘致促進協議会を通じた事業を実施している。